

科目名		実習ゼミⅢ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
摂食・嚥下障害の臨床像を理解し、評価・訓練の実際を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
摂食・嚥下障害の臨床像について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題について考える。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
摂食・嚥下障害の評価診断と治療についての知識と技術を習得する。									
回数	講義内容								
1	摂食・嚥下障害の障害像の理解を深める								
2	摂食・嚥下障害の評価法（1）								
3	摂食・嚥下障害の評価法（2）								
4	評価演習（1）								
5	評価演習（2）								
6	嚥下訓練：間接訓練の理論								
7	間接訓練演習								
8	嚥下訓練：直接訓練の理論								
9	直接訓練演習								
10	嚥下食について理解を深める								
11	嚥下食の実習								
12	臨床的なチームアプローチについて								
13	チームアプローチ演習								
14	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーション								
15	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版					大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									